

## 「赤小子どもまつりで見られた成長」

高橋晶子



今年度の「赤小子どもまつり」は、昨年度の中止を受けて2年ぶりの開催でした。感染症対策に配慮した上で、もう一つのテーマにSDGsを考えて行おうという目標を立てました。

お化け屋敷など、これまでできていた密になりやすいお店ができないため、クラスでアイデアを出し合い、場所や遊び方や内容を工夫しました。

また、「ゴミを出さない」「リサイクルできるものを活用する」「自分たちで材料を集めてくる」など知恵を出し合いながら、来てくれた人に楽しんでもらえるように準備を進めました。

体育館や第二校庭などオープンスペースを使うことや、タブレットを活用したクイズやプログラミングで作ったゲーム、中継宝探し、ドラマ上映など今年ならではの内容もありました。

当日はどのお店も子供たちの笑顔があふれていました。

## 「セーフティ教室について」

生活指導部 山中 一弥

今年度は5月に行う予定でしたが、緊急事態宣言が発令されたため、7月に延期し「セーフティ教室」が行われました。身近な生活の中で、起きそうな事故や事件を想定して、危険を回避できるようになることを目的として実施いたしました。

- 1年生 交通安全について
- 2年生 不審者対応について
- 4年生 インターネットの利用の仕方について
- 5年生 SNSについて
- 6年生 薬物乱用防止について

警察のお話を聞いたり、具体的な事例の分かるDVDを見たりして、子供たちは真剣に安全について考えていました。学習した内容について、各学級でも振り返りを行いましたが、ご家庭でも話題にしていきたいと思えます。

自分の身を守る手段の1つとして、学校では防犯ブザーの着用を指導しています。防犯ブザーが使える状態になっているのか確認をお願いします。また、子供たちの安全・安心な生活を送るために、学校・家庭・地域のきまりを今一度確認して、元気に過ごしてほしいと思えます。

## 「4年生から」

窪木 亜希子

4年生は、理科の学習で、春にヘチマやゴーヤの種を植えました。久しぶりに土に触れる子が多く、ひんやりとした土の感触を楽しみながら、早く芽が出るように丁寧に植えていました。



ヘチマやゴーヤなどの蔓性植物は、「緑のカーテン」とも呼ばれています。4年生の緑のカーテンは日光を遮るにはもう少し成長が必要です。子供たちも実がなるのを今から楽しみにしています。



## 「特別支援教室の通級及び学習支援員の配置（令和4年度1学期）の申込みについて」

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室（学習ルーム）を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行う学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は、**9月30日（木）まで**に、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

※なお、来年度以降も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、**9月30日（木）まで**に担任、特別支援コーディネーター、または副校長に連絡してください。